

くろかわ感染症情報

2023年度 第2号



今回のテーマは

ヘルパンギーナ・手足口病

ヘルパンギーナ、手足口病は夏季に流行がみられる小児の急性ウイルス性の感染症で、夏かぜの代表的なものです。ヘルパンギーナは塩釜保健所管内では6/26の週から警報レベル[※]を超えています。手足口病も管内では流行はみられませんが、県内他の保健所管内では警報レベルを超えています。家庭内のほか、学校・保育園等の集団生活での感染に注意し、予防対策に努めましょう。

※大きな流行が発生または継続しつづくと疑われることを示す

どんな感染症なの？

	ヘルパンギーナ	手足口病
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・38度以上の突然の発熱 ・のどの奥に水ぶくれができ、水ぶくれが破れて痛みも伴う。 ・2～4日で解熱し、7日程度で治る。 ・口腔内の痛みのために不機嫌、食欲不振、脱水に注意が必要。 ・合併症：熱に伴う熱性けいれん、まれに髄膜炎、心筋炎 	<ul style="list-style-type: none"> ・手のひら・足の裏などに米粒大の水ぶくれを含む発疹、口の中に口内炎ができる。 ・他に38度以下の発熱や食欲不振、のどの痛みなどがみられるが、一般に軽症で3～7日でおさまる。 ・合併症：まれに急性脳炎、髄膜炎、心筋炎
潜伏期間 (感染した日から症状が出るまでの期間)	2～4日間 (最大6日) 	3～5日 
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染 (咳やくしゃみ) ・経口・接触感染 (手についたウイルスが口に入る) 	

感染予防のポイント

- ✓ 石けんと流水でしっかりと手洗いをして、タオルの共用は避けましょう。
- ✓ 症状がおさまった後も、飛沫や鼻水からは1～2週間、便からは2～4週間ウイルスが排出されますので、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前には手洗いを行い、感染予防対策に心がけましょう。
- ✓ 咳エチケットを心がけましょう (咳やくしゃみをするときには口と鼻をティッシュなどや、上着の内側や袖でおおう)



2023年8月30日 発行